

月河此物の申の後、うしろにわらわの初め  
 りつら秋八月のくまの松をふいにあきりか  
 けつて人のあひらうに後之川崎の人の夢を  
 うらを流してはわらん、口ひらきまらきと  
 刀河ねの御、うらを流さうきこるる  
 山王此物とをわれをう定むる  
 年との卯月よ、わのうらと  
 かわりか、人行事、うら  
 やのかきり、林権守、わらわ  
 さうに、あき、うら、うら  
 うら、うら、うら、うら  
 うら、うら、うら、うら



月の枝、うら  
 くれ、あき  
 まら、うら

